

佳作

「高齢者施設訪問で学んだこと」

登米市立北方小学校 六年 木村 きむら 濤 みお

私は、チアリーディングを習っています。チアでは、年にたくさんイベントに出ておどりをひろうしています。その中で何度か高齢者施設を訪問して、おじいさんおばあさんの前でもおどりをひろうしたことがあります。さらに、おどるだけでなく、おじいさん、おばあさんの肩もみをしたり手のマッサージをしたりしました。ゲームをしたりいっしょに歌をうたったりもしました。毎年行っているこのような交流をととても楽しみにしています。何よりもおじいさん、おばあさんと私達が交流すると喜んでもらえることがすごくうれしいです。これからも、チアリーディングとしての交流以外の場面でも、お年寄りに親切にすること、笑顔になってもらうことを心がけていきたいです。

他にも、五年生の総合の時間に老人ホームを訪問しました。施設の説明をうけて利用しているおじいさん、おばあさんの生活について詳しく聞くことができました。その時に、ねたきりの人でもお風呂に機械をそうさしてお風呂に気持ち良く入ることができるという話を聞きました。また、おじいさんおばあさんと歌をうたっておどったり、学芸会でやった演技

をひろうしたりしました。「上手だね」「ありがとう」などとたくさん声をかけてもらい、すごくうれしかった思い出があります。

今、日本は「超高齢化社会」をむかえていると言われています。長生きできることは、素晴らしいことだと思います。体は元気でも心は元気なのでしょうか。さびしい思いをしたり、もっと話をしたいと思っていたりは、していないでしょうか。心も体も元気なままで長生きできたら、もっともつと素晴らしいことなだと思います。そのために、お年寄りにどんな時でも手をさしのべられるような思いやりを心がけていきたいです。さらに、心も体も元気でいつも笑顔のおじいさん、おばあさんたちが日本中で生き生きと暮らしていくことができたらいいなと思います。